

# 算数科 小学校 6年

## 単元名「円の面積」

本時の目標

○円を分割する活動を通して、円の面積の求め方を考える。

### 本時の流れ

復習  
・前時の復習をする。

#### 【めあての把握】

☆前時で円のおよその面積は、半径×半径の約3倍であることを学習したが、もう少し、正確に求める方法を考えていくことが本時のめあてであることを理解させる。

めあての把握  
・本時のめあてを知る。

【めあて】円の面積を求める公式を考えよう。

自力解決  
・円を扇形に分割して並べ、既習の図形に並び替える。

#### (発問)

円を切って変形させて、これまで習った図形に直せないか考えてみましょう。

#### 【自力解決】

☆8分割、16分割した円の紙を配り、児童個々に考えさせる。

集団解決  
・等積変形した図について気付いたことを発表する。

#### 【集団解決】

☆32分割図や64分割図を提示し、平行四辺形や長方形に近づいていることに気付かせる。

自力解決  
・等積変形した図を使って円の面積の求め方を考える。

#### (発問)

長方形の縦と横は円のどの部分にあたるかを考えましょう。

#### 【自力解決】

☆縦の長さは円の半径、横の長さは円周の半分であることに気付かせ、公式を導かせる。

集団解決  
・円の面積は、半径×半径×3.14であることを説明する。

#### 【集団解決】

☆式の変形はできるだけ丁寧に行う。

$$\begin{aligned} \text{縦} \times \text{横} &= \text{半径} \times \text{円周の半分} \\ &= \text{半径} \times (\text{直径} \times 3.14 \div 2) \\ &= \text{半径} \times (\text{半径} \times 3.14) \\ &= \text{半径} \times \text{半径} \times 3.14 \end{aligned}$$

実測結果との比較  
・公式を使って、実測結果と比較する。

#### 【実測結果との比較】

☆実測結果(約 310 c㎡)と比較させ、気付いた内容を交流する中で、円周率の不思議さを感じ取らせる。

学習のまとめ  
学びの振り返り

#### 【振り返り】

☆本時の学習の感想を書かせる。

本時の指導計画はこちら

CLICK



CLICK

円の分割図はこちら

HOME

単元の流れへ

授業展開例へ